各区図書館のあゆみ [5] 南区 泉ヶ丘図書館から南図書館へ 栂分館・美木多分館

歴史と自然豊かな南区

南区には、貴重な歴史と豊かな自然があります。堺で生まれた与謝野晶子も幼いころ、家族と松茸狩りに来たことを忘れられない楽しかった思い出として「たけ狩り」に書いています。

角なのです。呼んで励上人、遅を二三枚の地 の作つのあるは、何を名間門さんの家の下別で した。大きい始が掛けられたもつで、気を間の最近によったうと歌の は大きいがが掛けられたもつで、気を間の最近によったうと歌の は大きいがなが掛けられたもつで、気を間の最近によったうと歌の



『私の生い立ち』 与謝野晶子 著 竹久夢二 画 刊行社より

高まる図書館建設要望

昭和41(1966)年、泉北ニュータウンの開発により人口が増した南区域では、図書館建設の要望が高まりました。



『堺市勢要覧』昭和58年度版より

移動図書館ひまわり号

中央図書館は地理的にも遠く、移動図書館ひまわり3号(昭和48年当時13か所)の駐車場所では、駐車時間を過ぎても人が絶えない状況でした。







泉ヶ丘図書室

昭和48(1973)年に「泉ヶ丘に図書館を作る会」が発足、昭和50(1975)年に 若松台近隣センター内に「泉ヶ丘図書室」を開設し運営。 泉ヶ丘図書館開館まで地域の子どもたちの読書環境を支えました。

泉ヶ丘図書館開館

昭和58(1983)年7月1日、泉ヶ丘市民センター2階にワンフロア1200㎡を越える広さを持つ泉ヶ丘図書館が開館。平成17(2005)年4月、南図書館に名称変更。

市民の文化活動を支援するため、300人収容できるホールと2つの集会室を備えています。生涯学習コーナー、芸術・スポーツ分野の収集を特色とする図書館です。



建設前の泉ヶ丘図書館(昭和57年7月)



図書館の行事

講演会「子どもと絵本」 (堺市子ども文庫連絡会と共催)



夏のおたのしみ会(平成7年8月)

栂分館のあゆみ

栂地区に図書館を

昭和50(1975)年、泉北ニュータウン栂地区の自治会、PTAや家庭文庫な どにより、「栂地区に図書館・文化施設をつくる会」が発足し、移動図書館 巡回の要望があり、昭和51(1976)年からひまわり3号による巡回が始まり

昭和56(1981)年には、移動図書館の庭代台2丁の駐車場所で2時間の 駐車時間に平均貸出冊数1,615冊と、市内で最も多くの利用がありました。

栂分館のオープン

泉ヶ丘図書館の開館から1年後、昭和59(1984)年6月1日、泉北高速鉄道 の栂・美木多駅前に栂文化会館が開館し、2階に泉ヶ丘図書館栂分館が ープンしました。

駅から直結の歩道橋で徒歩100m余りと、大変利便性がよく、所蔵冊数は 約3万冊と規模は小さいながらも、開館当初は年間30万冊近い貸出冊数が ありました。

平成26(2014)年も18万6千冊の本が貸し出され、多くの利用を得ています。



雨の中で行われた栂文化会館の開館式(昭和59年5月31日)



栂みんなまつり 「おはなしかご」によるおはなし会の案内 昭和60(1985)年

美木多分館のあゆみ

光明池地区に図書館を

昭和55(1980)年、「光明池に図書館をつくる会」が発足し、地域へのアン -ト調査やシンポジウムなど多彩な活動が行われました。

美木多分館のオープン

昭和60(1985)年6月1日、泉北高速鉄道の光明池駅前に鴨谷体育館が 設され、1階に泉ヶ丘図書館美木多分館を開館しました。泉ヶ丘駅、栂・美木 多駅についで、泉北高速鉄道の一駅ごとに図書館ができました。

体育館の利用者が気軽に立ち寄れ、親しまれています。駅を拠点に移動する人たちの利用も多く、年20万冊を 超える貸出がありました(昭和61年度269,055冊)。

また、平成25(2013)年4月より泉北地域4市1町の相互利用が開始され、和泉市に近接していることから、和泉 市民の利用も多くなっています。



暮らしに役立つ図書館をめざして



南区役所をはじめ、関係機 関やボランティアグループと連 携し、子どもたちの読書環境 の向上と市民の生涯学習を支 援しています。

ハッピーファースト ブック事業





